調査結果の骨子

1 暮らし向き

テーマ	回答が多かった項目(内の数字は順位)及び特徴的な項目 (下線部が特徴的な点、+ は前回比)	
昨年に比べての暮らし向き	悪くなった(50.7% +2.5ポイント)(自営業68.3%)	
暮らし向きが「悪くなった」理由	収入が減った(54.6% <u>+ 13.5ポイント</u>) (<u>八幡浜・大洲60.3% + 25.2ポイント</u>)(<u>農林漁業 + 27.8ポイント</u>)	
具体的な項目毎の暮ら し向きの変化	食生活や衣服など全10項目について項目毎に「良くなった」 か「悪くなった」かを質問 貯蓄:「悪くなった」62.1%(<u>+7.9ポイント</u>) 所得・収入:「悪くなった」56.8%(<u>+8.5ポイント</u>)	
暮らし向きの程度	中(77.9%) 内訳: <u>中の下(36.0% +1.0ポイント)</u> 中の中(34.2% 3.2ポイント) 下(16.0%)(宇和島24.6%)(60歳代23.1%)	
資産の程度	中(62.2%) 下(27.7% <u>+4.8ポイント</u>)	
普段の生活における時 間的なゆとりの有無	ゆとりがある(49.5%) ゆとりがない(48.2%)	
現在の暮らしに対する満 足度	満足(58.4% <u>微減傾向</u>) 不満(39.7% <u>微増傾向</u>)	
日常生活での悩みや不安	老後の生活設計について(60.1%)(<u>50歳代76.7%</u>) 自分の生活上の問題(14.7%)(<u>20歳代52.8%</u>) 将来の生活や健康、現在の生活に関する項目が増加傾向	
生活の中で不足している もの	収入(49.5% <u>+6.3ポイント</u>) 特にない(16.4% <u>3.5ポイント</u>)	
自由時間と収入に対する考え方	自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い(38.4%) 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい(37.2%) (40歳代48.8% + 6.7ポイント)	
日常生活で充実感を感じる時	家族団らんの時(23.5%)	
暮らしの先行き観	悪くなっていく(43.7% <u>+2.7ポイント</u>) (<u>50歳代59.1% +8.3ポイント</u> <u>60歳代49.2%</u>)	
改善したい暮らし向き (今後の暮らしで力を 入れたいことがら)	貯蓄(38.2% <u>+3.5ポイント</u>)(<u>20歳代59.3% +11.5ポイント</u>) 旅行・レジャー・余暇生活(16.5%)(<u>60歳代28.8%</u>) 食生活(12.5%)(<u>70歳以上29.4%</u>)	
今後の暮らしに対する 考え方	心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい(24.5%) まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい(21.6%)	
ゆとり派が重きをおきたい内容	健康を大切にする(39.3%)	
物質派が重きをおきたい内容	広くて設備の整った家に住む (28.0%)	

2 広報・広聴

原の広報活動の周知度 (ア線部が特徴的な点、 + は前回比) 県の広報活動の周知度 (知っているもの) デレビ広報番組(55.7%) デレビ広報番組の聴怒験 テレビ広報番組の感想 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(48.9%) かまる(40.8%)	上		
(知っているもの)	テーマ		
テレビ広報番組の感想 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(48.9%) テレビ広報番組を見た		テレビ広報番組(51.0%)	
テレビ広報番組を見た ことがない理由 ラジオ広報番組の聴取経験 どれも聞いたことがない(86.7%) ラジオ広報番組の感想 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(41.9% +5.6ポイント) ラジオ広報番組の感想	テレビ広報番組の視聴経験	見たことがない(59.2% <u>+6.8ポイント</u>)	
ことがない理由 (63.1%) (70歳以上78.4% +18.1ポイント) ラジオ広報番組の聴取経験 どれも聞いたことがない(86.7%) ラジオ広報番組の感想 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(41.9% +5.6ポイント) アジオ広報番組の感想 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(41.9% +5.6ポイント) アジオ広報番組を聞い (70歳以上70.3% +9.5ポイント) アジオ広報番組の周知度 知っていた(59.4% 9.0ポイント) (20歳代26.8%) 興味のあるところを読んでいる(52.4%) 興味のあるところを読んでいる(52.3% +3.7ポイント) 「さわやか愛媛」の感想 紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% +3.7ポイント) 「さわやか愛媛」に取り上げるテーマの希望 「音社、医療に関すること(61.9%)県の行事・イベント・施設の紹介(56.4%)消費生活や暮らしに関すること(51.2%) 「アレビ(59.4% +5.9ポイント) 新聞(52.8%)(40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度)県のホームページ(4.9%)(40歳代以下88超) サウ後の広報活動の取組み 県の広報番組の充実(61.9%)県のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 知りたいと思う県政情報 県の広報番組の充実(61.9%)県のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 無限の声を県政に反映させる手段 県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 「場合で表れば、できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 「場合で表れば、15.4%)(字屋36.7%)県庁に電子メールを送る(5.5%)(40歳代以下10%前後) 東政出前講座の周知度 知らなかった(92.4%)	テレビ広報番組の感想	番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(48.9%)	
フジオ広報番組の感想 番組は画-的だが、県の仕事や内容がよく分かった(41.9% +5.6ポイント) フジオ広報番組を聞い 放送されていることを知らなかった(56.2%) にことがない理由 (70歳以上70.3% +9.5ポイント) 「さわやか愛媛」の周知度 知っていた(59.4% 9.0ポイント)(20歳代26.8%) 「さわやか愛媛」をどの程度読んでいるか 紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% +3.7ポイント) 「さわやか愛媛」の感想 紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% +3.7ポイント) 福祉、医療に関すること(61.9%) 県の行事・イベント・施設の紹介(56.4%) 消費生活や暮らしに関すること(51.2%) 県政情報の情報源(情報を得る方法)			
ラジオ広報番組を聞いたことがない理由	ラジオ広報番組の聴取経験	どれも聞いたことがない(86.7%)	
「さわやか愛媛」の周知度 知っていた(59.4% 9.0ポイント)(20歳代26.8%) 「さわやか愛媛」をどの程度読んでいるか 興味のあるところを読んでいる(52.4%) 「さわやか愛媛」の感想 紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% +3.7ポイント) 「さわやか愛媛」に取り上げるテーマの希望 に取り上げるテーマの希望 消費生活や暮らしに関すること(61.9%)県の行事・イベント・施設の紹介(56.4%)消費生活や暮らしに関すること(51.2%) 「みの広報活動の取組 界の広報番組の充実(61.9%)県のホームページ(4.9%)(40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度)県のホームページ(4.9%)(40歳代以下8%超) 今後の広報活動の取組 界の広報番組の充実(61.9%)県のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 知りたいと思う県政情報 第1に電話をかける(25.1%)第1に電話をかける(25.1%)第1に電話をかける(25.1%)第1に電話をかける(25.1%)第1に電子メールを送る(5.5%)(40歳代以下10%前後) 県政出前講座の周知度 知らなかった(92.4%) 利用したいとは思わない(25.1%)	ラジオ広報番組の感想	番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった(41.9% <u>+5.6ポイント</u>)	
「さわやか愛媛」をどの程度読んでいるか 興味のあるところを読んでいる(52.4%) 「さわやか愛媛」の感想 紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% <u>+3.7ポイント</u>) 「さわやか愛媛」に取り上げるテーマの希望 福祉、医療に関すること(61.9%) 県の行事・イベント・施設の紹介(56.4%) 消費生活や暮らしに関すること(51.2%) 県政情報の情報源(情報を得る方法) デレビ(59.4% <u>+5.9ポイント</u>) 新聞(52.8%)(40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度)県のホームページ(4.9%)(40歳代以下8%超) 今後の広報活動の取組み 県の広報番組の充実(61.9%)県のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 知りたいと思う県政情報 県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容(32.8%)報			
の程度読んでいるか 「さわやか愛媛」の感想 紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% +3.7ポイント) 「さわやか愛媛」に取 「よわやか愛媛」に取 「よりというできた。 (61.9%) 県の行事・イベント・施設の紹介(56.4%) 消費生活や暮らしに関すること(51.2%) 「お聞(52.8%)(40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度) 県のホームページ(4.9%)(40歳代以下88超) 今後の広報活動の取組 み 「中の広報番組の充実(61.9%) 県のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 関いたいと思う県政情報 関いたいと思う県政情報 関がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容(32.8%)新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介(29.4%) 県民の声を県政に反映させる手段 県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 「県民の声の伝達方法」 「中でできた制度できる相談窓口を充実する(33.4%) 「中でできた制度できる相談窓口を充実する(33.4%) 「中でできた制度できる相談窓口を充実する(33.4%) 「中でできた制度できる相談窓口を充実する(33.4%) 「中でできた制度できる相談窓口を充実する(33.4%) 「中ででは場を通じる(15.4%)(主摩36.7%) 県庁に電子メールを送る(5.5%)(40歳代以下10%前後) 東政出前講座の周知度 知らなかった(92.4%) 「利用したいとは思わない(25.1%) 利用したいとは思わない(25.1%) 利用したい(17.3%)(20歳代6.5%)	「さわやか愛媛」の周知度	知っていた(59.4% <u>9.0ポイント</u>)(<u>20歳代26.8%</u>)	
「さわやか愛媛」に取り上げるテーマの希望		興味のあるところを読んでいる(52.4%)	
こわやか愛媛」に取り上げるテーマの希望 県の行事・イベント・施設の紹介(56.4%) 消費生活や暮らしに関すること(51.2%) 県政情報の情報源(情報を得る方法) テレビ(59.4% +5.9ポイント) 新聞(52.8%)(40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度) 県のホームページ(4.9%)(40歳代以下8%超) 今後の広報活動の取組 県の広報番組の充実(61.9%) 県のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 駅のホームページの充実(10.0%)(20歳代20.8%) 県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容(32.8%) 駅にの声を県政に反映させる手段 県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 東民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 東民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 東民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 東民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 東民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 東田前講座の周知度 知らなかった(92.4%) 知らなかった(92.4%) 利用したいとは思わない(25.1%) 利用したい(17.3%)(20歳代6.5%)	「さわやか愛媛」の感想	紙面は見やすく、情報量も適当である(52.3% <u>+3.7ポイント</u>)	
無政情報の情報源(情報を得る方法) 新聞(52.8%)(40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度) 県のホームページ(4.9%)(40歳代以下8%超)		県の行事・イベント・施設の紹介 (56.4%)	
母		新聞(52.8%)(<u>40歳代以上50%超</u> <u>30歳代以下35%程度</u>)	
報 新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介(29.4%) 県民の声を県政に反映させる手段 県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%) 県民の声の伝達方法 県に電話をかける(25.1%) 市町役場を通じる(15.4%)(宇摩36.7%) 県庁に電子メールを送る(5.5%)(40歳代以下10%前後) 県政出前講座の周知度 知らなかった(92.4%) 県政出前講座を利用し 利用したいとは思わない(25.1%) 大いかどうか 利用したい(17.3%)(20歳代6.5%)			
県に電話をかける(25.1%) 中町役場を通じる(15.4%)(<u>宇摩36.7%</u>) 県庁に電子メールを送る(5.5%)(40歳代以下10%前後) 県政出前講座の周知度 知らなかった(92.4%) 県政出前講座を利用し 利用したいとは思わない(25.1%) たいかどうか 利用したい(17.3%)(20歳代6.5%)			
県民の声の伝達方法市町役場を通じる(15.4%)(宇摩36.7%) 県庁に電子メールを送る(5.5%)(40歳代以下 10%前後)県政出前講座の周知度知らなかった(92.4%)県政出前講座を利用したいとは思わない(25.1%) たいかどうか利用したいとは思わない(25.1%) 利用したい(17.3%)(20歳代6.5%)	県民の声を県政に反映させる手段	県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する(33.4%)	
県政出前講座を利用し たいかどうか 利用したい(17.3%)(20歳代6.5%)	県民の声の伝達方法	市町役場を通じる(15.4%)(<u>宇摩36.7%</u>)	
たいかどうか 利用したい (17.3%) (20歳代6.5%)	県政出前講座の周知度	知らなかった (92.4%)	
		`	
たいと思わない理由 難しそうなイメージがある(18.3%)(<u>20歳代30.0%</u> <u>70歳以上26.9%</u>)	県政出前講座を利用し たいと思わない理由	利用する時間がないから(31.0%)(<u>30歳代44.3%</u> 40歳代45.7%) 難しそうなイメージがある(18.3%)(<u>20歳代30.0%</u> 70歳以上26.9%)	

3 愛媛県のイメージ

テーマ	回答が多かった項目(内の数字は順位)及び特徴的な項目 (下線部が特徴的な点、+ は前回比)
現在の愛媛県のイメージ	水と緑が多く、自然環境に恵まれている(77.1%) 不便である(26.3%)(八幡浜・大洲40.1% <u>宇和島48.1%</u>) 保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる(14.2%) (八幡浜・大洲9.2% <u>宇摩6.6%</u>)
今後の愛媛県のある べき姿のイメージ	水と緑が多く、自然環境に恵まれている(55.5% <u>+7.1ポイント</u>) 保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる(52.5%) (<u>八幡浜・大洲60.4% +11.7ポイント</u>)

4 県政への要望

テーマ	回答が多かった項目(内の数字は順位)及び特徴的な項目 (下線部が特徴的な点、+ は前回比)	
産業面	雇用対策(42.3%)(40歳代50.7% + 21.6ポイント) (新居浜・西条47.6% 宇摩+10.8ポイント 今治+12.5ポイント)	
医療、保健衛生機能の拡充(26.7%) (50歳代33.9% + 9.4ポイント)(八幡浜・大洲4 子育て支援対策(14.7%) (20歳代27.9% 30歳代39.6% 40歳代19.6%)(宇摩2		
教育面	学校教育の充実 (31.9%)	

5 特定課題

テーマ		回答が多かった項目(内の数字は順位)及び特徴的な項目 (下線部が特徴的な点)
今後の本県交通のあり方	公共交通の必要性	必要である(83.1%)
	公共交通への財政 的な支援の必要性	財政的な支援はやむを得ない(55.6%) 積極的に財政的な支援を行うべきである(23.2%)
	公共交通利用のた めの改善点	運賃の低減、割引サービスなどの実施(54.2%)
	今後の自家用車と公共交通のあり方	自家用車利用の増加を抑制し、公共交通を維持していく必要がある:公共交通維持派(52.2%) 自家用車利用が増加し、公共交通が縮小するのはやむを得ない:自家用車派(41.6%) 今治、松山では、公共交通維持派が大きく上回っている 宇摩では、自家用車派が大きく上回っている

テーマ		回答が多かった項目(内の数字は順位)及び特徴的な 項目(下線部が特徴的な点)
ボランティフ	ボランティアの参加状 況	参加したことがない(57.8%) (30歳代70.2%)(宇摩、松山60%超)
	ボランティア活動活性 化への取組み	気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり (54.1%)
活動	ボランティアキャンペ ーンへの参加	参加するつもりはない(59.7%)(<u>40歳代以下60%超</u>)
住宅用火災警報器	設置状況	設置していない(62.5%) (<u>50歳代68.2%</u> <u>70歳以上67.1%</u>)(<u>宇摩73.4%</u>)
火災警	設置方法	自ら設置した(36.8%)
報器	設置していない理由	義務設置まで猶予がある(31.1%)
レジ袋削減	取組状況 (レジ袋の辞 退状況)	時々辞退している(31.5%) 毎回辞退している(9.8%) (新居浜・西条18.7% 宇摩2.5%)
減	レジ袋有料化に対する考え	賛成である(39.8%) 反対である(24.8%)
生物多様性の保全	生物多様性という言葉 の認知度	知らない(61.0%) (女性66.8%)(20歳代68.3% 30歳代76.2%)
	生物多様性保全のため の取組み	学校教育や社会教育など様々な場での野生動植物の多様 性に関する環境教育の推進(38.1%)
カード等普及啓発臓器提供意思表示	意思表示カード等の認 知度	知っているが、所持していない(65.3%) 所持している(20.8%) (<u>60歳代11.8%</u> <u>70歳以上5.6%</u>)(<u>勤め人33.4%</u>)
	家族が臓器提供の意思 表示をしている場合、 その意思に対する考え	尊重する及びたぶん尊重する(74.5%) (<u>男性78.7%</u>)(<u>50歳代以下80%程度</u>)
更用足進 医薬品の安心	医薬品の選択	どちらでもよい(医師等の判断に任せる)(36.3%) ジェネリック医薬品を希望する(28.1%) (<u>男性34.5%</u>)(<u>70歳以上16.2%</u>)(<u>宇摩11.7%</u>)
	医薬品の選択の際に重 視すること	医師、薬剤師の勧めがあること (79.1%)
致問 日本人 拉	拉致問題への関心度	非常に関心がある及び関心がある(82.0%)
	拉致問題啓発活動の認 知度	街頭啓発(署名や募金活動含む)(64.2%) 知らない(16.8%)(<u>30歳代以下25%超</u>)